

# 新木曾看護専門学校（仮称）基本計画（案）

平成 24 年 11 月

地方独立行政法人長野県立病院機構

## <目 次>

1	開設の経過	1
2	基本的な方針（主なもの）	1
3	新校の基本的枠組み	1
4	新校の教育基本構想	2
	（1）教育理念	
	（2）教育目的	
	（3）教育目標	
5	教育課程の構成と特色	3
6	開校準備	5
	（1）施設・設備及び教材・一般備品	
	（2）組織及び職員	
	（3）選抜方法	
	（4）授業料等	
7	収支計画	6
	（1）基本方針	
	（2）具体的な策定方法	
	（3）収支計画（素案）	
	（4）各種料金の設定（案）	
8	開設スケジュール	14

## 1 開設の経過

「長野県の看護人材養成に係る検討会」における県立看護専門学校等の見直しの方針決定（平成 24 年 3 月）

→ 2 年課程は閉科し、運営主体を県立病院機構とする 3 年課程を開設する。

- 県のへき地医療を担う県立病院（木曾・阿南）の看護師確保の強化
- 地域内での看護師の養成・定着の促進

## 2 基本的な方針（主なもの）

- (1) 当機構が看護専門学校を設置・運営することにより、木曾地域及び中南信地域における高校生の学びの場の確保並びに看護人材の確保・育成及び地元への定着に貢献する。
- (2) 看護師不足により一部の病棟を休止している木曾病院はじめ、阿南病院、こころの医療センター駒ヶ根など県立病院に必要な看護師を安定的・継続的に確保することを可能とする。
- (3) 本校は、特色あるカリキュラムと恵まれた自然環境を活かした「オンリーワン」の学校を創り、地域医療の担い手を養成する。
- (4) 看護師養成は、地方独立行政法人の病院事業の附帯事業として「本体事業に支障を与えず十分な採算性を有すること」という要件をふまえ、県並びに地域からの支援を受けつつ健全な学校運営を行う。

## 3 新校の基本的枠組み

項目	内容	備考
学校名	新木曾看護専門学校（仮称）	新校の名称を公募予定
開校予定	平成 26 年 4 月 （平成 25 年 12 月頃から学生募集）	平成 26 年度は県立 2 年課程が併課
設置場所	木曾青峰高等学校新開キャンパス内 （旧木曾山林高等学校）	現木曾看護専門学校所在地
職員体制	校長・副校長①、専任教員⑧ （うち教務主任①）、事務①	その他必要な外部講師、実習指導教員等を配置
定員	90 人（各年次 30 人）	
入学選考	・一般入試、社会人入試：15 名 ・推薦入試（指定校枠・地域枠）：15 名	

## 4 新校の教育基本構想

### 教育理念

本校は、公的使命をもつ長野県立病院機構として、看護の社会的役割を担うことのできる専門職者の育成を目指す。

恵まれた自然と歴史ある環境のもとで、人間の生命や生活の質を多角的に理解し尊重できる豊かな人間性を基盤として、創造力と行動力を発揮しながら看護を実践する基礎的能力を身につけ、将来にわたり保健・医療・福祉の発展充実に貢献する人材を育成する。

### 教育目的

人々の生命と暮らしのありのままを理解することのできる幅広い視野を育み、看護職者に必要な知識・技術・態度を身につけ、保健・医療・福祉の領域において貢献し得る基礎的能力を育成する。

### 教育目標

ア 人間を理解する幅広い視野と豊かな人間性を養う。

- ① 感性を磨き、生命の尊さに触れ、人間の理解を深めることができる。
- ② 自己を見つめ、相手の立場に立って考えることができる。
- ③ 多様な学びの機会を通して他者との人間関係を深めることができる。

イ 科学的・倫理的判断に基づき、対象に応じた看護を実践する基礎的能力を養う。

- ① 人々の健康と暮らしを総合的に理解できる。
- ② 人々の多様な健康課題や価値観を理解し、尊重できる。
- ③ 理論と専門的技術、経験を統合し、適切な判断に基づいた看護を実践できる。

ウ 保健・医療・福祉の領域において他職種等と協働できる基礎的能力を養う。

- ① 保健・医療・福祉制度と他職種の役割を理解できる。
- ② 関係職種の一員として看護の果たす役割を理解し、自らのものとして心得る。

エ 看護職者として主体的に学び続ける基礎的能力を養う。

- ① 看護を取り巻く社会の動向に関心をもつことができる。
- ② 看護に関わる課題について主体的継続的に学習できる。

## 5 教育課程の構成と特色

### ◎「オンリーワン」の教育環境

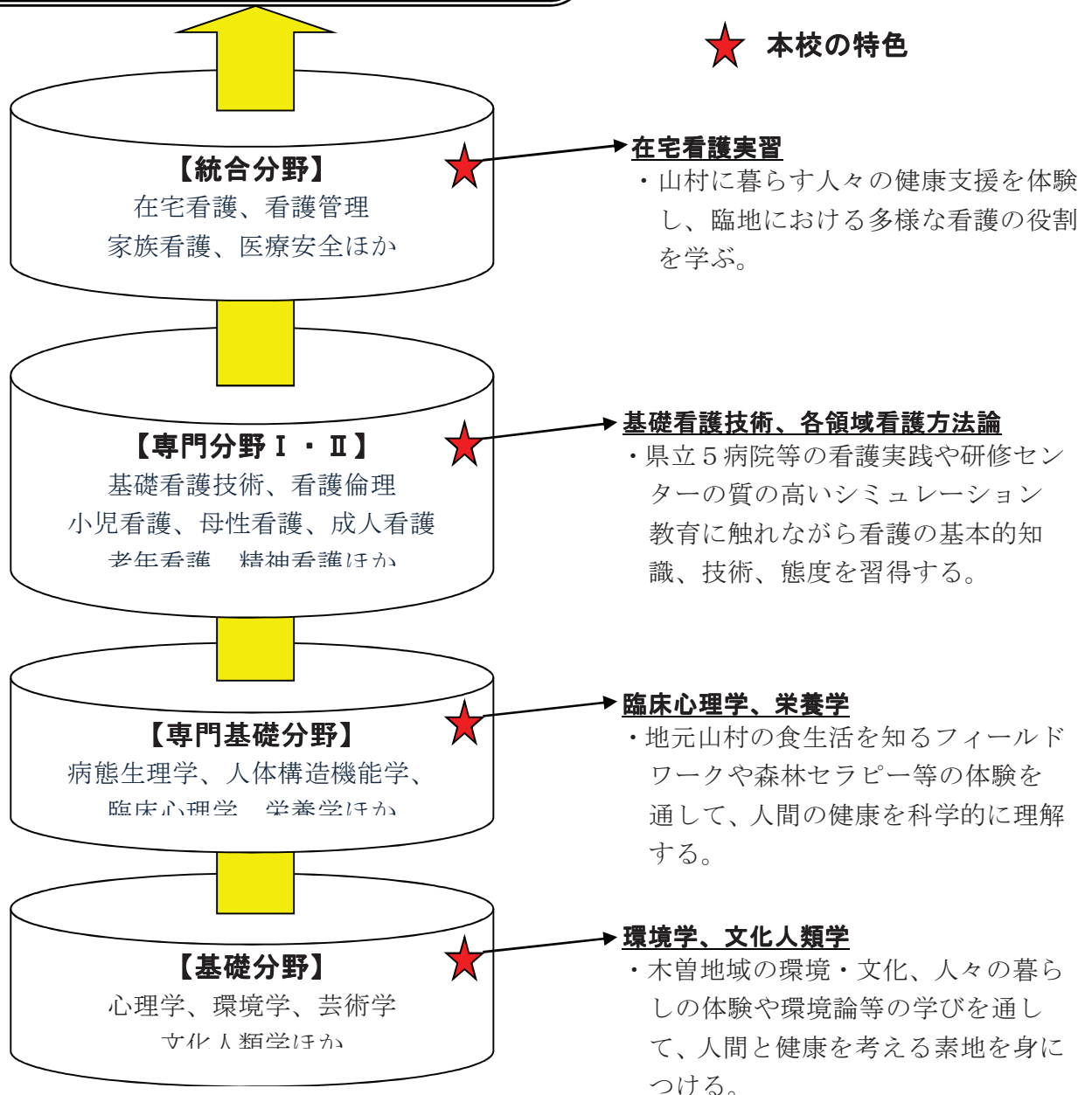
- ・木曾の豊かな自然やくらしの文化に触れられる学習環境
- ・学生個々の成長をサポートする、少人数制の丁寧な指導体制
- ・木曾病院を主に、特色ある県立病院等による充実した実習環境

### <イメージ図>

#### 期待される卒業生像

人間の生命と暮らしを尊重し、保健・医療・福祉領域で看護実践できる基礎的能力を有する人材

#### ★ 本校の特色



※103単位 3,015時間 うち実習1,035時間



## 6 開校準備

### (1) 施設・設備及び教材・一般備品

特色あるカリキュラムと恵まれた自然環境を活かした「オンリーワン」の学校づくりを進めることで学生の確保を図る。

#### ア 校舎施設・設備

木曽山林高校新開キャンパス（旧木曽山林高校）内の林業・体育特別棟の施設・設備を県教委から健康福祉部へ所管換したのち、機構が県から無償で借り受けた上で、必要な改修や整備を行う。

#### イ 寄宿舍施設・設備

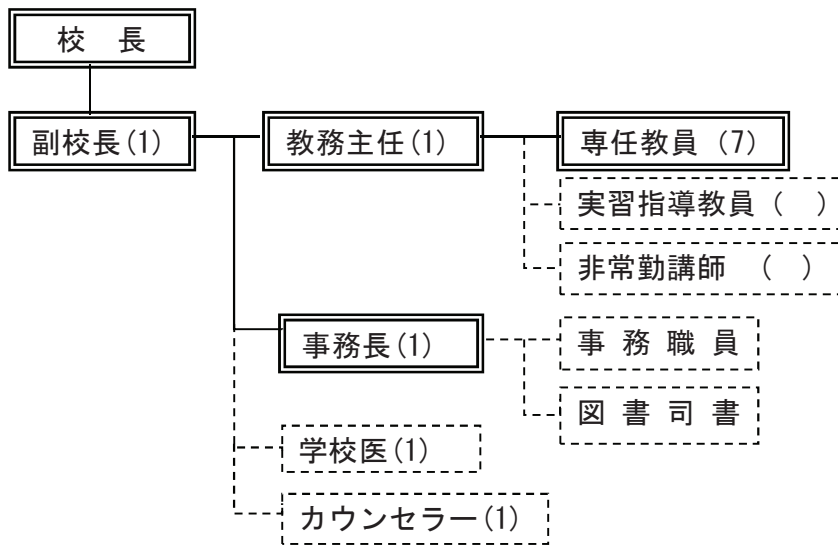
民間アパート（1棟 10戸）の借上げを行うほか、現木曽看護専門学校が所管する「咲河寮」（さいがりょう）を県から無償で借り受ける。

#### ウ 教材・一般備品

現木曽看護専門学校から新校に引き継いだ上で、学校運営に必要な教材等の整備を行う。

### (2) 組織及び職員

「保健師助産師看護師学校養成所指定規則」及び「看護師等養成所の運営に関する指導要領」等に基づき、配置が義務付けられている職員のほか、教育課程の円滑な運営に必要な人員体制とする。（以下は組織の一例。）



（※二重線…必置、実線…常勤職員（県からの派遣職員含む）、破線…非常勤職員）

### (3) 選抜方法

入学試験を実施することとし、必要書類を提出するほか、学力試験及び人物考査を行い総合的に判定する。

なお、推薦枠・社会人枠等を設け、幅広く学生を集める。

また、第1期生の選考は、看護師等養成所の指定内示を厚生労働省関東信越厚生局から受けたのち、平成25年11月頃を目途に開始する。

〔新木曾看護専門学校（仮称）3年課程 入学試験種別と募集人員（案）〕

区分		選考方法	実施時期（H25）	人数
一般入試		1. 学力試験 2. 面接 3. 書類審査	1月【1回目】 3月【2回目】	15名 程度
社会人入試		1. 学力試験 2. 面接 3. 書類審査	一般入試と同日実施	
推薦入試	指定校	1. 小論文 2. 面接 3. 書類審査	12月	15名 程度
	地域枠	1. 小論文 2. 面接 3. 書類審査	12月	
	公募枠	1. 学力試験 2. 小論文 3. 面接 4. 書類審査	12月	

(4) 授業料等

「国立大学等の授業料その他の費用に関する省令」に規定する国立専修学校の授業料（年額）、入学料、検定料の標準額の上限範囲（120%）を基本としつつ、類似施設の下限額などを勘案し設定する。

また、受益者負担の観点から、初期投資・初度調弁及び維持修繕費に係る施設整備費を新たに徴収する。

〔新木曾看護専門学校（仮称）3年課程 授業料等一覧表(案)〕

区 分	金 額	県立看護専門学校	改定率
入学検定料	10,000円	9,600円	+4.2%
入学金	50,000円	24,000円	+108.3%
授業料	200,000円	166,800円	+19.9%
施設整備費	25,000円	—	皆増
計	285,000円	200,400円	

※その他、教科書代、白衣代及び実習教材費等が実費分として必要

## 7 収支計画

(1) 基本方針

ア 地方独立行政法人を所管する総務省から、「新校運営は、病院事業の附帯事業であり、かつ独立したセグメント会計を構成するものであるため本体事業（＝病院事業）に支障を与えない十分な採算性の確保が必要である。」旨の指導を受けているため、機構として適切な学校運営に努める。



- イ 看護師養成所の運営経費は、毎年度、「地方財政計画」に計上され、普通交付税措置がなされているため、県から適正な財政支援を受ける。
- ウ 看護師養成所の運営に係る県からの運営費負担金については、「地方独立行政法人法」（平成 15 年 7 月 16 日法律第 118 号）第 85 条及び「地方公営企業繰出基準通知」等に基づき適正な額の繰出しを要求する。
- エ 県から借用あるいは無償譲渡により引き受ける施設・設備及び備品類について、初期投資・初度調弁として、必要な改修や整備を行う。  
なお、その財源として、地域医療再生基金等の支援及び病院事業債を原資とした県からの長期借入金を充当する。

(2) 具体的な策定方法

ア 初期投資・初度調弁

- ① 施設・設備については、現木曾看護専門学校校舎に係る 3 年課程の設置及び教育課程の特色化を実現するために必要な改修経費を計上
- ② 教材・一般備品については、3 年課程の設置及び教育課程の特色化を実現するために必要な教材等整備費を計上
- ③ 不足する寄宿舎を確保するため、民間アパート借上に係る所要額を計上

イ 運営経費

- ① 学生から徴収する授業料等については、国立専修学校の授業料等の標準額の上限範囲（120%）を基本としつつ、類似施設の下限額などを勘案し設定するとともに、初期投資・初度調弁及び維持修繕費に係る施設整備費を新たに徴収
- ② 寄附金収入については、保護者・企業・一般住民等各層から幅広く募る。
- ③ 人件費（法定福利費含）については、現木曾看護専門学校をベースに、学校運営上の必要な人員数を計上
- ④ 管理運営費については、現木曾看護専門学校をベースに、3 年課程において必要な増嵩分を加味し計上

(3) 収支計画（素案）

8～9 頁のとおり

(4) 各種料金の設定について（案）

10～11 頁のとおり

新木曾看護専門学校(仮称) 収支計画(素案)

【H25初期投資の状況】

区分	金額	内容	財源	備考
建設工事費	97,163	校舎改修工事	県からの補助	
備品等購入費	25,740	教材・一般備品、消耗備品等	県からの補助	
計	122,903	財政支援を要望【県と協議中】		

【学校運営費の状況】

(単位:人、千円)

科目	H25	H26	H27	H28	H29	H30	備考
	学生数	—	30	60	90	90	
収益							
営業収益	11,670	86,660	104,486	111,336	111,436	111,536	
看護学校収益	0	11,012	17,762	24,512	24,512	24,512	
授業料		6,000	12,000	18,000	18,000	18,000	@200千円×学生数
入学金		1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	@50千円×30名
設備整備費		750	1,500	2,250	2,250	2,250	@25千円×学生数
入学検定料		350	350	350	350	350	@10千円×35名
証明手数料		12	12	12	12	12	
新学生寮貸付料		2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	@20千円×12月×10戸
運営費負担金収益	0	75,648	86,724	86,824	86,924	87,024	
その他		75,648	86,724	86,724	86,724	86,724	
元金分				100	200	300	
補助金等収益	11,670	0	0	0	0	0	
国庫補助金							地域医療再生基金
県補助金	11,670						
その他補助金							
営業外収益	2,645	6,349	6,354	6,359	6,362	5,479	
運営費負担金(利息分)			5	10	13	15	
その他営業外収益							
資産見返負債戻入	2,645	6,349	6,349	6,349	6,349	5,464	
(校舎施設)	543	1,304	1,304	1,304	1,304	1,304	
(校舎設備)	1,217	2,921	2,921	2,921	2,921	2,921	
(教材・備品)	885	2,124	2,124	2,124	2,124	1,239	
特別収益							
計	14,315	93,009	110,840	117,695	117,798	117,015	
収益的収支							
営業費用	16,671	111,689	115,434	121,084	121,230	120,484	
給与費	0	77,559	77,559	77,559	77,559	77,559	職員10人分(校長(or副校長)①、教員⑧、事務①)
給料		41,760	41,760	41,760	41,760	41,760	
手当		21,250	21,250	21,250	21,250	21,250	
法定福利費		11,210	11,210	11,210	11,210	11,210	
退職給付引当金		3,339	3,339	3,339	3,339	3,339	
経費	13,842	20,982	21,877	24,060	24,060	24,060	別添経費内訳
消耗品費		1,070	1,070	1,070	1,070	1,070	
光熱水費		1,632	1,632	1,632	1,632	1,632	
委託料		582	582	582	582	582	
その他経費	13,842	17,698	18,593	20,776	20,776	20,776	
教育研究費		6,359	9,063	12,384	12,384	12,384	別添経費内訳
研修費		560	560	560	560	560	
研究費		50	50	50	50	50	
外部講師謝金		3,342	5,935	9,022	9,022	9,022	
旅費交通費		941	1,052	1,286	1,286	1,286	
教材費		552	552	552	552	552	
図書費		914	914	914	914	914	
減価償却費	2,829	6,789	6,935	7,081	7,227	6,481	
(校舎施設)	598	1,434	1,434	1,434	1,434	1,434	償却率:0.037(27年)(47年-20年(経過年数)=27年)
(校舎設備)	1,339	3,213	3,213	3,213	3,213	3,213	償却率:0.066(15年)
(教材・備品)	893	2,142	2,288	2,434	2,580	1,834	償却率:0.200(5年)
資産減耗費							
貸倒引当金繰入額							
営業外費用	0	0	11	22	30	35	
支払利息	0	0	11	22	30	35	
一時借入金利息							
企業債利息			11	22	30	35	
特別損失							
計	16,671	111,689	115,445	121,106	121,260	120,519	
収支差 (A)	△ 2,356	△ 18,680	△ 4,605	△ 3,411	△ 3,462	△ 3,504	
資本的収支							
企業債		800	800	800	800	800	
運営費負担金(～H25他会計負担金)							
運営費交付金							地域医療再生基金
県補助金等	100,130						
その他資本収入							
計	100,130	800	800	800	800	800	
企業債償還金			0	200	400	600	
建設改良費	109,061	812	812	812	812	812	
(校舎施設)	43,076						
(校舎設備)	54,087						
(教材・備品)	11,898	812	812	812	812	812	別添経費内訳
その他資本支出							
計	109,061	812	812	1,012	1,212	1,412	
収支差 (B)	△ 8,931	△ 12	△ 12	△ 212	△ 412	△ 612	

○ キャッシュ・フロー

現金調整	収益的予算 収支差(A)	△ 2,356	△ 18,680	△ 4,605	△ 3,411	△ 3,462	△ 3,504
	資本的予算 収支差(B)	△ 8,931	△ 12	△ 12	△ 212	△ 412	△ 612
	資産見返負債戻入	△ 2,645	△ 6,349	△ 6,349	△ 6,349	△ 6,349	△ 5,464
	減価償却費	2,829	6,789	6,935	7,081	7,227	6,481
	現金ベース収支差	△ 11,103	△ 18,252	△ 4,031	△ 2,891	△ 2,996	△ 3,099

# 経費内訳

(単位:千円)

支出科目	積算方法	H26	H27	H28	(参考) 現行(2年)	摘要	
報酬	非常勤職員報酬(事務①)	4,000	4,000	4,000		その他	
報償費	非常勤実習指導担当者(看護師②)	135	945	3,105			
	試験委員謝金 114千円	114	114	114	114		
	講師等謝金 (講師分)	3,228	4,075	4,899	1,388	外部講師謝金	
	(実習分)	90	570	1,394	288		
	外部講師謝金				252		
旅費	機構内病院講師等謝金 (講師分)	H26は、運営費負担金 として病院に直接配賦	1,746	4,009		外部講師謝金	
	(実習分)		1,056	1,111			
	費用弁償(講師)		690	2,898			
	普通旅費		941	1,052	1,286	492	旅費交通費
	研修旅費		239	239	239	479	その他
需用費	特別旅費		240	240	240		研修費
	(食糧費)	食糧費 9 × 1.5	14	14	14	9	その他
	(消耗品費)	消耗品費(経常分) 713 × 1.5	1,070	1,070	1,070	713	消耗品費
	消耗品費(教育環境整備)	368 × 1.5	552	552	552	368	教材費
	図書費	609 × 1.5	914	914	914	609	図書費
	消耗品費(教員資格取得研修教材図書費)		150	150	150	150	研修費
	(燃料費)	業務用車両燃料費	65	65	65	65	その他
	暖房用燃料	259 × 1.5	389	389	389	259	その他
	(印刷製本費)	100 × 1.5	150	150	150	100	その他
	(光熱水道費)	学校分 1,088 × 1.5	1,632	1,632	1,632	1,088	光熱水費
(修繕料)		377	377	377	377	その他	
役務費	郵送料・電話料	363 × 1.5	545	545	545	363	その他
	自賠責保険料		0	0	0	0	その他
	インターネット接続料		210	210	210	210	その他
	結核検診手数料	630 × 90	19	38	57	42	その他
	結核抗体検査手数料	1,050 × 30	32	63	32	32	その他
	B型肝炎抗体検査手数料	1,155 × 90	35	69	104	70	その他
委託料	消防設備保守点検等委託料		582	582	582	582	
	夜間警備委託料		459	459	459	459	委託料
	火災報知器設備保守点検委託料		81	81	81	81	
	廃棄物処理委託料		42	42	42	42	
使用料及び賃借料	複写機等使用料	384 × 1.5	576	576	576	384	その他
	パソコン賃借料	350 × 1.5	525	525	525	350 *	その他
	下水道使用料	164 × 1.5	246	246	246	164	その他
	オンライン機器賃借料		97	97	97	97 *	その他
	情報科学教育機器使用料		1,614	1,614	1,614	1,614	その他
	フィジカルアセスメント模型リース		551	551	551	551	その他
	学生情報管理システム		1,140	1,140	1,140	1,140	その他
新寄宿舎借上げ		6,720	6,720	6,720		その他	
備品購入費	教材用備品 541 × 1.5	812	812	812	541 *		
負担金補助及び交付金	看護教育研究会負担金		50	50	50	50	研究費
	看護資格取得研修		170	170	170	170	研修費
公課費	自動車重量税			0	0		
経費計		28,153	31,753	37,256			

備品抜	27,341	30,941	36,444	
経費	1,070	1,070	1,070	消耗品費
	1,632	1,632	1,632	光熱水費
	582	582	582	委託料
	17,698	18,593	20,776	その他
教材図書費	560	560	560	研修費
	50	50	50	研究費
	3,342	5,935	9,022	外部講師謝金
	941	1,052	1,286	旅費交通費
	552	552	552	教材費
	914	914	914	図書費
	0	0	0	

# 各種料金の設定について（案）

看護学校準備室

## ◎ 設定に当たっての考え方

### （１）授業料、入学料、入学検定料（以下「授業料等」という。）について

原則として、「国立大学等の授業料その他の費用に関する省令」（平成16年3月31日文科科学省令第16号）第2条に規定する国立専修学校の授業料（年額）、入学料、検定料の標準額に、同第10条に規定する標準額の上限範囲（120%）を乗じたものを基本としつつ、類似施設の下限額（別添一覧表参照）などを勘案し設定します。

区分	新 校			国省令		県立看護 専門学校	備 考
	金 額	対国省令 (上限額)	対県立	上限額	標準額		
検定料	10,000円	▲15.2%	+4.2%	11,520円	9,600円	9,600円	10,000円に まるめ
入学金	50,000円	▲68.0%	+108.3%	84,000円	70,000円	24,000円	類似施設の 下限額
授業料	200,000円	▲0.1%	+19.9%	200,160円	166,800円	166,800円	10,000円単 位でまるめ
計	260,000円	▲13.7%	+29.7%	295,680円	246,400円	200,400円	

※その他、教科書代、白衣代及び実習教材費等が実費分として必要

### （２）外部講師の謝金について

賃金・講師手当に係る県統一単価表の単価に、授業料等の設定の際に使用した国省令の標準額の上限範囲（120%）を乗じたものを基本としつつ、類似施設の下限額（別添一覧表参照）などを勘案し設定します。（旅費については、別途実費支給）

区分	臨 時		継 続		備 考
		県統一単価		県統一単価	
大学級	7,600円	6,350円	5,000円	4,200円	100円単位で まるめ
その他	6,300円	5,250円	4,200円	3,550円	〃

※1コマ90分については120分と見做し、上記単価を適用

### （３）実習施設の謝金について

県の予算単価（1人1時間当たり131円）に、授業料等の設定の際に使用した国省令の標準額の上限範囲（120%）を乗じたものを時間単価と定めた上で、1日あたりの実習時間として設定した7.5時間に乗じて設定します。

区分	1人1時間当たり単価		1人1日当たり単価		備 考
		県		県	
実習施設	157円	131円	1,000円	982円	1,000円単位 でまるめ

(参考)

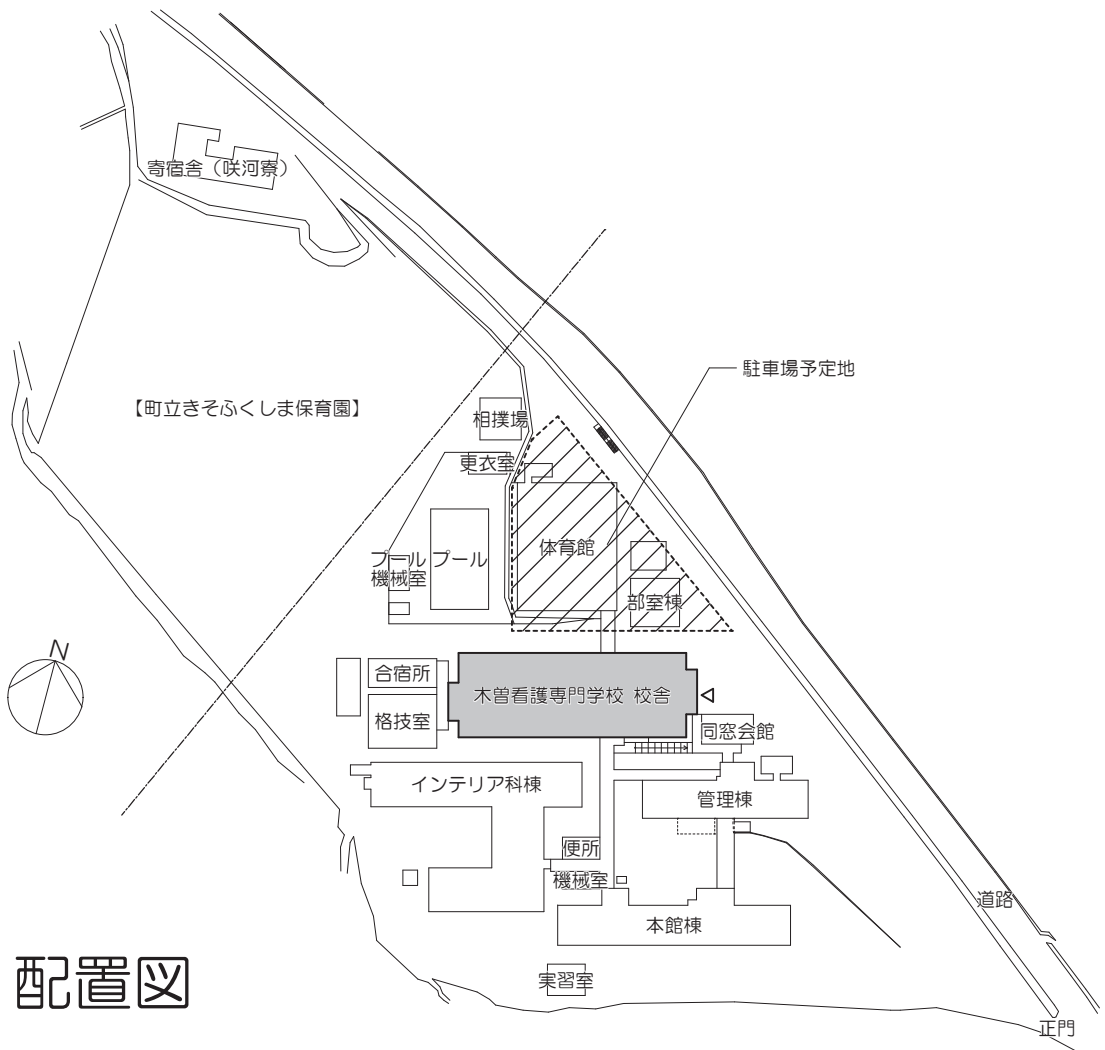
## 長野県内の看護師養成所(3年課程)の授業料等

(単位:円)

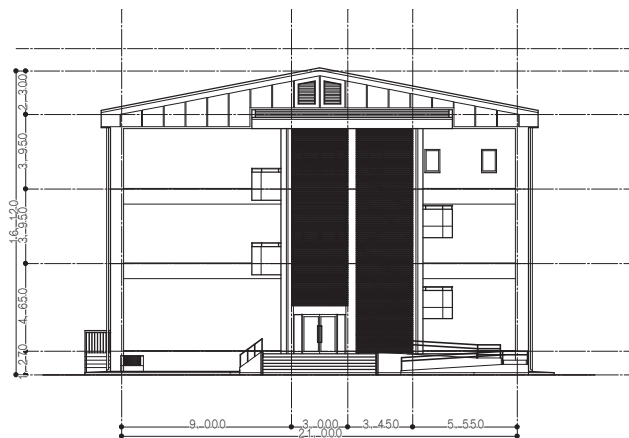
学校名	設置主体	定員	年次	入学金	授業料	施設設備費	実習教材費	諸経費	計
厚生連佐久総合病院看護専門学校	長野県厚生農業協同組合連合会	80	1年次	100,000	360,000	120,000	60,000	250,000	890,000
		80	2年次		360,000	120,000	60,000	0	540,000
		80	3年次		360,000	120,000	60,000	0	540,000
		240	計	100,000	1,080,000	360,000	180,000	250,000	1,970,000
独立行政法人国立病院機構信州上田医療センター附属看護学校	独立行政法人国立病院機構信州上田医療センター	40	1年次	180,000	400,000	25,000		197,000	802,000
		40	2年次		400,000	25,000		7,000	432,000
		40	3年次		400,000	25,000		7,000	432,000
		120	計	180,000	1,200,000	75,000	0	211,000	1,666,000
小諸看護専門学校	社団法人小諸北佐久医師会	40	1年次	50,000	300,000	100,000	70,000	170,000	690,000
		40	2年次		300,000	100,000	70,000	100,000	570,000
		40	3年次		300,000	100,000	70,000	100,000	570,000
		120	計	50,000	900,000	300,000	210,000	370,000	1,830,000
諏訪赤十字看護専門学校	日本赤十字社	40	1年次	50,000	250,000	100,000		460,000	860,000
		40	2年次		250,000	100,000		0	350,000
		40	3年次		250,000	100,000		0	350,000
		120	計	50,000	750,000	300,000	0	460,000	1,560,000
諏訪中央病院看護専門学校	諏訪中央病院組合(茅野市、原村、諏訪市の一部事務組合)	40	1年次	50,000	240,000	60,000	60,000	179,000	589,000
		40	2年次		240,000	60,000	60,000	9,000	369,000
		40	3年次		240,000	60,000	60,000	9,000	369,000
		120	計	50,000	720,000	180,000	180,000	197,000	1,327,000
松本看護専門学校	一般社団法人松本市医師会	40	1年次	150,000	420,000	150,000	120,000	200,000	1,040,000
		40	2年次		420,000		120,000	0	540,000
		40	3年次		420,000		120,000	0	540,000
		120	計	150,000	1,260,000	150,000	360,000	200,000	2,120,000
長野赤十字看護専門学校	日本赤十字社	40	1年次	50,000	250,000	150,000		260,000	710,000
		40	2年次		250,000	150,000		0	400,000
		40	3年次		250,000	150,000		0	400,000
		120	計	50,000	750,000	450,000	0	260,000	1,510,000
長野看護専門学校第1看護学科	一般社団法人長野市医師会	40	1年次	150,000	540,000	150,000	180,000	100,000	1,120,000
		40	2年次		540,000			50,000	590,000
		40	3年次		540,000			0	540,000
		120	計	150,000	1,620,000	150,000	180,000	150,000	2,250,000
長野県須坂看護専門学校 3年課程	長野県	40	1年次	24,000	166,800		100,000	126,000	416,800
		40	2年次		166,800		130,000	46,000	342,800
		40	3年次		166,800		190,000	16,000	372,800
		120	計	24,000	500,400	0	420,000	188,000	1,132,400
新木曾看護専門学校(仮称)	長野県立病院機構	30	1年次	50,000	200,000	25,000	100,000	146,000	521,000
		30	2年次		200,000	25,000	130,000	40,000	395,000
		30	3年次		200,000	25,000	190,000	10,000	425,000
		90	計	50,000	600,000	75,000	420,000	196,000	1,341,000

# 新木曾看護専門学校（仮称）

H24. 10. 10案

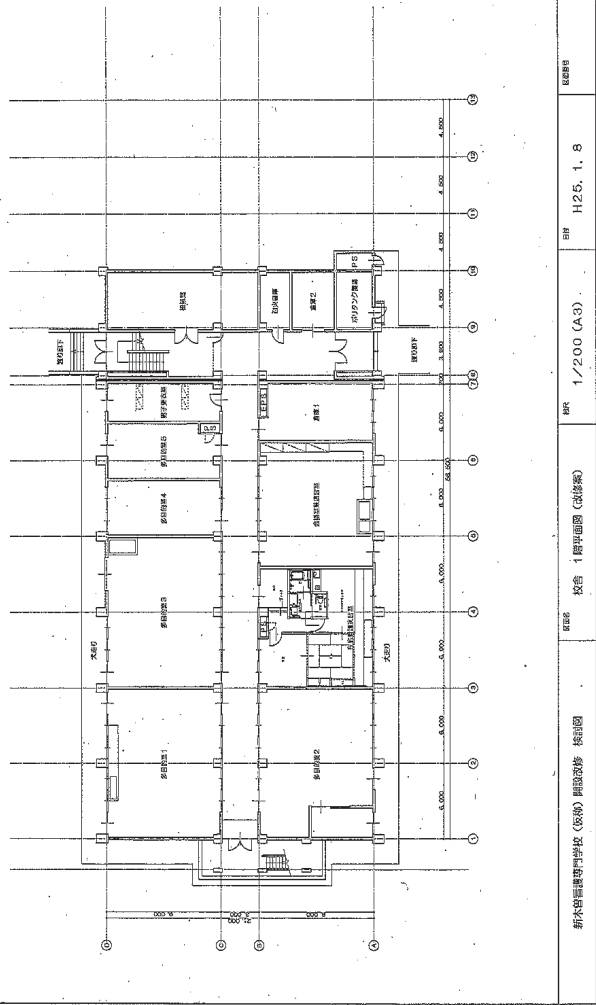


配置図



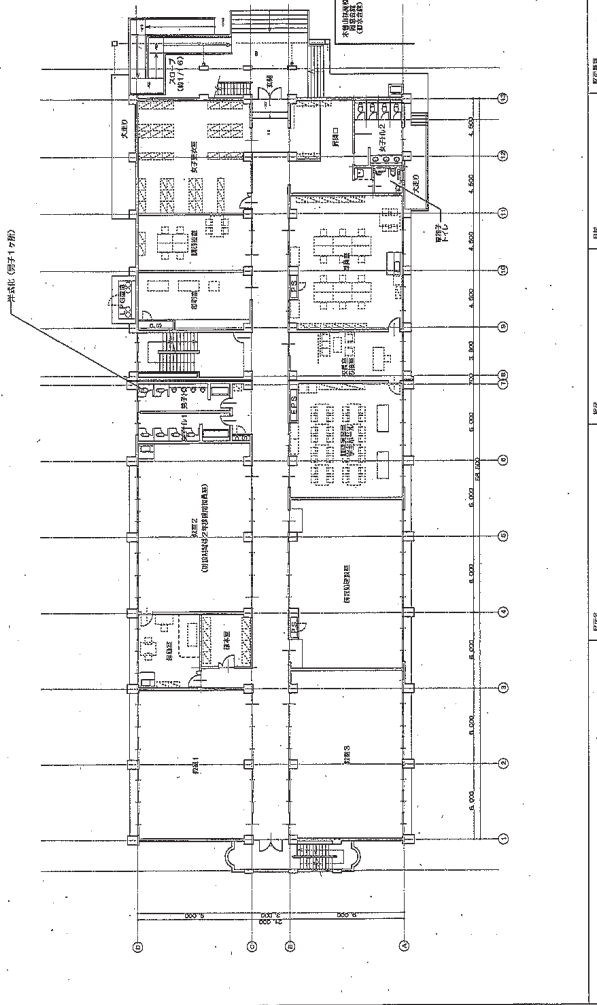
正面（東側）立面図 S=1/400

# 改修案



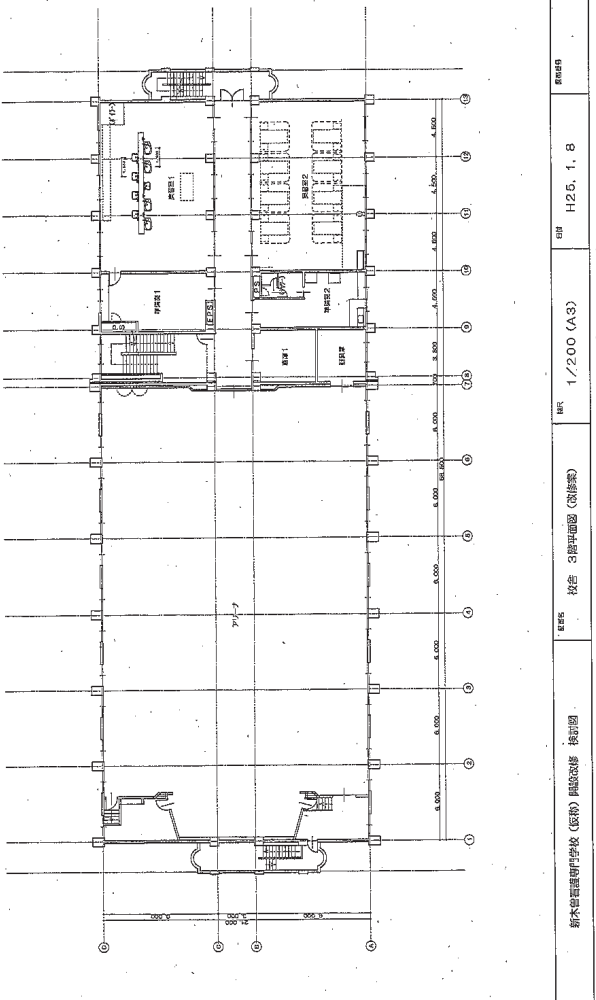
新大谷看護専門学校（仮称）開設改修 棟別図  
 階数 1階平面図（改修案）  
 縮尺 1/200 (A3)  
 日付 H25. 1. 8  
 図番 00000

# 改修案



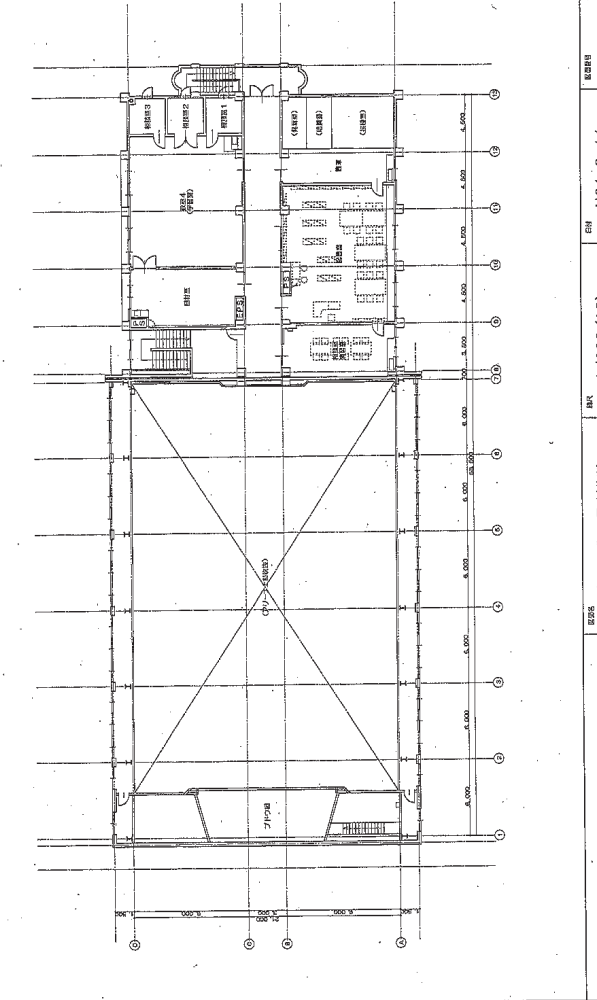
新大谷看護専門学校（仮称）開設改修 棟別図  
 階数 2階平面図（改修案）  
 縮尺 1/200 (A3)  
 日付 H25. 1. 8  
 図番 00000

# 改修案



新大谷看護専門学校（仮称）開設改修 棟別図  
 階数 3階平面図（改修案）  
 縮尺 1/200 (A3)  
 日付 H25. 1. 8  
 図番 00000

# 改修案



新大谷看護専門学校（仮称）開設改修 棟別図  
 階数 4階平面図（改修案）  
 縮尺 1/200 (A3)  
 日付 H24. 9. 11  
 図番 00000

木曾看護専門学校 3年制移行に係る想定スケジュール (H25.1.21修正)

